

2 数学－T・Tを有効に機能させた授業

(1) はじめに

本校では、平成8年度よりT・T加配があり、学力向上及び効果的なT・T指導のあり方を研究してきた。毎年、教科が異なり継続的な研究の深化は難しいものがあったが、複数の教科でのT・T指導の実践により、職員間の共通理解が深まっている。

今回は、数学での能力別指導（展開時）の実践例を紹介したい。

(2) 授業の実際

○単元名 「平面図形」

○学力向上の手立て

（基礎・基本の定着のための手立て）

- ・本時に必要な基礎事項を、プリントと黒板を用いて効率よく確認できるようにしたい。
- ・能力に応じた学習プリントを準備し、基礎・基本を明確にとらえさせるようにしたい。

（個に応じた支援のあり方）

- ・T・Tによる机間指導を通して、きめ細かな支援に心がけたい。
- ・興味を持続させるため、一斉、個人、グループ学習など、変化を持たせる授業を構成したい。

（表現力を高めるための手だてのあり方）

- ・発表の機会を多くして、賞賛を与えることにより、自信を持たせるようにしたい。
- ・コース別・能力別学習場面を設定することにより、自分の考えを発表しやすくしたい。

○指導過程

段階	学習活動・内容	時間	形態
展開	3 課題解決の見通しを持つ。 (1) 図に必要な線分や記号を記入する。 (2) 図から成り立つことを予想する。・・・※	5 20	一斉 個別 (1-2人)
	4 課題を解決する。 (1) 自分に合った課題を選択する。		
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> ※があまりできなかった生徒 操作活動コース ①実際に紙を折ることにより、等しい線分や角や図を見つける ②紙を折って重なった線分や角や図形を記号を使って表す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> $AP=AQ, BP=BQ, PM=QM$ $\angle PAB=\angle QAB$ $\angle PBA=\angle QBA$ $\angle APB=\angle AQB$ $\triangle PAB$と$\triangle QAB$は合同 etc </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ※が十分できた生徒 発展問題コース ①図形の性質を発表し、確認する。 ②発展課題を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ①半径が同じ場合に成り立つ性質を考えよう。 ②$\angle PAQ$を2等分する線分ABを引きたい。図からBの位置を求めよう。 ③2円の中心ABがある。PQがABの真ん中を通るようにする2点PQの位置を求めよう。 </div> </div>	個別 ↓ 班	
③班ごとに小黒板にまとめる。 (2) 交わる2つの円の性質をまとめる。	5	一斉	